

クイズの回答とともに寄せられた “まちの声”

○サルに大根食われ、イノシシに芋を掘られ、腹の立つ毎日です。腹が立っても体に悪いから議会クイズ考えて、頭を切替したほづがいかな。

(86歳・女性)

○ぼくの好きな神石が良い町になるよう考えてください。

(7歳・男子)

○子どもが急病のとき受診してもらえると安心がしっかりあると安心です。

(33歳・女性)

○子どもから高齢者まで、誰もが住みやすい町「神石高原町」になってほしいと願っています。

(57歳・女性)

○町民の代表者として議員の皆さん頑張ってください。

(61歳・男性)

○小島方面行きバスが朝の早便がありません。花や谷まで歩いてでないと早いバスに乗れません。病気の時とか足が痛いときにはとても困ります。歩かない時はタクシーを使おうしがあります。高齢者なので病気の時には困っております。何とかありませんでしょうか。

(84歳・女性)

○集落支援制度について見直してほしい。おでかけタクシーを復活させてほしい。

(82歳・女性)

第7回 議会クイズ 解答

- ① 黒字
- ② かがやき
- ③ 新規
- ④ テスト
- ⑤ 豊松

ご応募頂きありがとうございます。正解者多数により抽選の結果、次の方々が当選され、1,000円分のやまなみ商品券をお贈りします。

第7回クイズ当選者

三和地区 高橋 阿誠さん	神石地区 佐藤 博子さん
油木地区 三原 郡二さん	神石地区 佐藤 菊枝さん
三和地区 貞永 秀子さん	(順不同)



11月9日 高千穂町議会にて

より読みやすい 議会広報誌をめざして

宮崎県高千穂町・福岡県新宮町に視察研修

11月9日～10日

高千穂町議会だよりは、全国町村議会で連続して優秀賞に輝かれており、読みやすく身近に感じる広報誌を毎回発行されています。

「編集時に特に心がけていること」について、記事の割合、記事の5行改行、見だしの書き方など意見交換しました。

新宮町議会では、「議会活性化特別委員会」を設置し、議会報告会の開催や政治倫理条例の改正など、より開かれた議会活動を目指して多くの取り組みをされています。

議会広報の編集では、印刷会社と同じ印刷ソフトを持ち合い、相互に編集・校正を行っていました。

2つの町議会で学んだことを取入れ、より読みやすい議会広報誌の編集に取り組みます。

追跡 ありやあどうなった?

今はどうなっているか? 追跡しました

新規就農者支援事業が

平成21年度よりスタート

(前号の続き)

前回3人の方を紹介しましたが、引き続き4人の方を紹介します。(神石地区の松尾圭一郎さんは、現在病気療養中ですので復帰され次第紹介します。)

皆さんそれぞれの分野で頑張っておられます。将来の神石高原町の農業の発展のため頑張ってください。

また引き続き、新規の方が就農できるようにこの支援事業の存続と、新たな事業の展開を期待します。

元気に頑張る 新規就農者のみなさん

(順次ご紹介します)



西森正昭さん (豊松)



平部みどりさん (豊松)



谷本和昭さん (油木)



鈴木聡さん (油木)

今回の特集記事 どうなる神石高原町

「このままでは神石高原町は消えてしまう！」



ようがんばったで!
「ごはんDE笑顔プロジェクト選手権」決勝大会

油木高校産業ビジネス科「ミツバチプロジェクト」は危機感をもって出発しました。

人口推計から、20年、30年後の我が町は消滅してしまうかもしれない。少子・高齢化に対し、儲かる農業の確立による町の存続を模索・検討した結果、ミツバチによる町の再生に至ったのです。

耕作放棄地にレンゲを植え、ミツバチ舞う「人と自然が輝く高原の町」の再生を目指します。

ごはんDE笑顔プロジェクト選手権決勝大会に挑んだ「ミツバチ姫チーム」(油木高校産業ビジネス科女子1年生)は実に明るく堂々と発表しました。

惜しくも、優勝は逃しましたが審査委員長から高い評価をいただきました。